

造船・船用

2022年4月4日

神田造船所の修繕事業承継 常石造船、神田ドック設立、シナジー創出

常石造船と神田造船所は1日、神田造船所の修繕事業を承継した神田ドックの全株式を取得し、修繕事業を継承したと発表した。神田ドックは同日付で設立され、社長には常石造船の中井利文執行役員（＝写真）が就任した。常石造船グループが持つ修繕ネットワークとの融合を実現し、シナジー創出を図る。

常石造船は修繕拠点として常石工場とグループの三保造船所を持ち、資本業務提携先の三井E&S造船グループの新潟造船とM&E S由良ドックとも修繕事業で連携する体制の構築を図っている。神田ドックが拠点として加わることで、多拠点間での柔軟な設備の融通やノウハウ、人材の交流によって、工期の短縮や様々なサイズの船舶への対応などを確立し、受注機会の増加を見込む。また、新燃料への対応など環境負荷低減の知見やデジタル技術の共有により、工事品質の一層の向上に取り組む。常石造船の奥村幸生社長は「常石造船が提携先や協業先と構築している修繕ネットワークに神田ドックが加わることで、従来以上に多様な提案が可能となる。シナジー創出によりさらなる競争優位を確立していく」とコメントを寄せた。

神田ドックは70年以上にわたる修繕事業で培った高い工事品質に定評があり、高いリピート率を背景に90%以上の稼働率を維持している。特にフェリーや官公庁船、作業船など難易度が高く、工期順守が求められる工事への対応力、エンジンの開放整備などの技術力に多くの顧客から支持を得ている。

【なかい・としふみ】1991年福山大学経済学部卒業、常石造船入社。2016年神原汽船財務部部長、19年常石造船執行役員経営管理部長、22年1月常石造船執行役員アフターサービス本部副本部長、2022年4月から現職。1968年生まれ、広島県福山市出身。

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.